

「平成30年度第1回 豊橋市地域公共交通活性化推進協議会」議事録

○日 時 平成30年6月18日（月）午後3時00分から

○場 所 豊橋市役所 講堂

○出席者 別紙「出席者名簿」参照

○傍聴人 1名

○事務局 8名

○関係者 1名

〔会議資料〕

◆次第

◆出席者名簿

◆豊橋市地域公共交通活性化推進協議会規約

◆協議案

協議案第1号 平成29年度事業経過報告及び収入支出決算（案）について

協議案第2号 東部地区「地域生活」バス・タクシーの運賃の変更について

協議案第3号 北部地区「地域生活」バス・タクシーの運行方式の一部変更について

協議案第4号 前芝地区「地域生活」バス・タクシーの臨時運行及びバス停の移設について

協議案第5号 平成31年度豊橋市地域内フィーダー系統確保維持計画（案）の策定について

協議案第6号 「夏休み小学生50円バス」の実施に伴う運賃の変更について

◆報告案件

報告第1号 豊橋市地域公共交通網形成計画に基づく平成29年度実績及び平成30年度予定について

報告第2号 地域運営団体の取組の報告について

◆その他案件

・路線バスのICカードの導入の検討について

・高齢者移動支援事業について

議 事

1. 開会

- ・前監事が平成30年6月6日に委員を辞任されたことから、会長より愛知県バス協会専務理事の小林委員が監事に指名された。
- ・本日の議事録署名者として委員2名が会長より指名された。
- ・今回の議事の内容あるいは進行の過程の中で、非公開事項に関するところがあるかどうかの確認がされた。(非公開事項に関する事項はなし)

2. 議題

○協議案第1号 平成29年度事業経過報告及び収入支出決算(案)について

- ・事務局より、平成29年度事業経過報告及び収入支出決算(案)について、協議案第1号に基づき説明が行われた。
- ・監事より監査結果の報告が行われた。
(監事)
- ・平成29年度豊橋市地域公共交通活性化推進協議会の収入支出決算については、5月18日に監査したところ、いずれも適正に処理されていることを認めたので、ここに報告する。

(質疑等)

- ・なし

- ・議長から協議案第1号について諮ったところ、全会一致で承認された。

○協議案第2号 東部地区「地域生活」バス・タクシーの運賃の変更について

- ・事務局より、東部地区「地域生活」バス・タクシーの運賃の変更について、協議案第2号に基づき説明が行われた。

(質疑等)

(委員)

- ・今回の実験により、著しく利用者の増加があったことは承知したが、収支率はどのようになるのか。運賃を半額にすると収入が下がるかと思うが、利用者数の増加でカバーできるということではよろしいか。

(事務局)

- ・利用者の増加によりカバーできることを確認済みである。

(委員)

- ・平成29年度から(1区間利用の)利用者数が増えているが、理由を把握しているの

か。また、運行の便数等は増えているのか。

(事務局)

- 増えた要因は把握していない。便数は増やしていない。

(委員)

• 今年度に入り、再度（1区間利用の）利用者数が減少しているが、どの時点の利用者数を見て収支状況を確認したのか。

(事務局)

• 比較の対象であるが、導入前の平成26年度の数字と現在の数字を比較し、収支率の計算をしている。

(委員)

- その上で問題ないと判断したということによろしいか。

(事務局)

- そのとおりである。

- 議長から協議案第2号について諮ったところ、全会一致で承認された。

○協議案第3号 北部地区「地域生活」バス・タクシーの運行方式の一部変更について

• 事務局より、北部地区「地域生活」バス・タクシーの運行方式の一部変更について、協議案第3号に基づき説明が行われた。

(質疑等)

(委員)

- 利用者に対して、運行の変更はどのように周知する予定か。

(事務局)

- 運営団体から周知してもらう他、地域に対してニュースを配布し、周知を図る予定。

(委員)

- ニュースを流す時期はいつ頃を予定しているか。

(事務局)

- 8月1日に変更となるので、広報とよはし8月号とともに配布する。

(委員)

・この区間を区域運行にするにあたって、基準等はあるのだろうか。運用上実施しやすい等あると思うが、メリット、デメリットなども説明いただければと思う。メリットしかないように見受けられるが。

(事務局)

・今まで第4便と第6便は予約がない区間においても路線定期ということで、全ての経路を運行していたが、利用者の方から時間を短縮して欲しいという要望を受け、それに応えるということで今回実施に至った。現状、柿の里萩平～石巻窓口センターまで約37分かかるが、他の予約がいなければ約10分で運行ができるという効果がある。デメリットについては想定していない。

(委員)

・利用者の方からの要望に応じて変更することは良いことだと思うので、これからも柔軟な対応をしていただきたい。

・議長から協議案第3号について諮ったところ、全会一致で承認された。

○協議案第4号 前芝地区「地域生活」バス・タクシーの臨時運行及びバス停の移設について

・事務局より、前芝地区「地域生活」バス・タクシーの臨時運行及びバス停の移設について、協議案第4号に基づき説明が行われた。

(質疑等)

(委員)

・バス停を設置する際に利用料は発生するのか。

(事務局)

・土地の借用料に関しては、無償で使用できるよう話がついている。

(委員)

・地権者の方のご厚意により無償で借りるということか。

(事務局)

・そのとおりである。

(委員)

- ・豊橋まつりに運行するために台数が増えたということか。

(事務局)

- ・本市のコミュニティバスは平日のみの運行であり、土日は運行していない。この豊橋まつりの2日分のため、今回協議させていただいている。

(委員)

- ・普段運行していないが、利用される方が多いので、この日に運行するという事になるのだが、そうすると事業内容の変更に当たるので、この場で協議をし、みなさんにご理解いただく必要がある。

- ・議長から協議案第4号について諮ったところ、全会一致で承認された。

○協議案第5号 平成31年度豊橋市地域内フィーダー系統確保維持計画(案)の策定について

- ・事務局より、平成31年度豊橋市地域内フィーダー系統確保維持計画(案)の策定について、協議案第5号に基づき説明が行われた。

(質疑等)

(委員)

- ・11ページ「3-2の目標を達成するために行う事業及びその実施主体」に記載のある⑤野依地区の実施内容に「自動車」とあるが、これは「自家用車」を意味するものでよろしいか。

(事務局)

- ・そのとおりである。

(委員)

- ・10ページに平成31年度、32年度、33年度の目標とする利用者数の記載があるが、校区の年齢構成等年々変化があると思うが、それに応じて目標値を変更するなどの手法も考えられるということによろしいか。

(事務局)

- ・計画の策定は、年度毎に策定を行っているので、見直す部分がある時は、その都度見直しを行っている。

(委員)

- ・二次評価の結果についてだが、概ね問題がないという評価がなされたということによ

ろしかったか。何らかの指摘があったかなど。

(事務局)

・交通事業者と連携したモビリティマネジメントや、地域住民と連携したバス路線維持のための取組などについて評価をいただいている。一点、広域路線について、もう少し利用促進の取組をしてはどうかとの意見をいただいているので、検討していきたい。

・議長から協議案第5号について諮ったところ、全会一致で承認された。

○協議案第6号 「夏休み小学生 50 円バス」の実施に伴う運賃の変更について

・事務局より、「夏休み小学生 50 円バス」の実施に伴う運賃の変更について、協議案第6号に基づき説明が行われた。

(質疑等)

(委員)

・毎年、およそ1万人～1万1千人ほどのお子様に利用いただいているが、去年は天候などの理由により、9千人弱の利用にとどまってしまった。みなさまの周りにお子様がいるのであれば、お声がけいただきたい。

対象路線の件について、名鉄バス東部(株)という会社が、7月1日より「名鉄バス」という名称に変更となる。また、名鉄バスとなると運行エリアが広がるので、対象路線を再度確認いただいた方がいいかと思われる。

(事務局)

・確認し、修正があれば対応させていただく。

(委員)

・田原市のコミュニティバスの記載が無いのは何故か。

(事務局)

・田原市の小学生の乗車運賃がもともと無料であるので、対象外となる。

(委員)

・利用した小学生がどこへ行くのか、保護者と一緒に利用しているのかなど、そのようなデータを所持しているのか。

(事務局)

・配布するチラシの中で保護者と利用するように記載しているので、保護者とともに利用することを想定している。細かいデータは収受していないので把握はしていない。一

一般的な利用としては、近隣のプールなどを目的地とした利用かと思われる。

(委員)

- 件数はどのように把握しているのか。支払い方法は現金払いだけかと思ったが。

(事務局)

- 豊鉄バス(株)の協力により、カウントだけは実施していただいている。
- 協議案第5号について、意見を基に修正をし、会長が確認することで承認された。

3. 報告案件

○報告第1号 豊橋市地域公共交通網形成計画に基づく平成29年度実績及び平成30年度予定について

- 事務局より、豊橋市地域公共交通網形成計画に基づく平成29年度実績及び平成30年度予定について、報告第1号、報告第1号の参考資料に基づき説明が行われた。

(質疑等)

(委員)

- 【取組み4-1】No.51 運転免許自主返納者への支援について、一昨年より、運賃改定を通じた免許自主返納者に対する割引を当社行っているわけだが、自主返納と公共交通機関利用を位置付けるPRを実施していたということで、社会的にも非常に良いことだと思われるが、一つお願いというか、よく私どもの自主事業に対して、市から補助を受けているのではと言われる。そのような誤解がここ二年の経験であるので、PRの際に誤解を招かないようご留意いただきたい。

(事務局)

- 市民の方から誤解が無いよう周知していきたいと思う。

(委員)

- 【取組み3-1】No.37 企画電車の運行に関して、ふるさと寄附返礼品として、路面電車運転体験を実施したとあるが、豊橋市の観光をPRするのに合致しており、非常に良い取組だと思われる。件数はどれくらいあったのか。

(事務局)

- 路面電車運転体験について、実施日が2日間、ペアで3組を募集。1人で参加された方もいたため、合計10名という結果であった。

(委員)

- ・キャパシティーの問題もあり、難しいかと思われるが、ぜひ進めていただきたい。

(委員)

- ・拡充することは難しいのか。

(事務局)

- ・件数について、どれくらいの応募があったというよりも、先着順で決まるので、2日間で3組、合計10名という結果になった。
- ・1日2組に限定した理由として、豊橋鉄道(株)独自の小さい子を対象とした路面電車運転体験がもともとある。それとの差別化を図り、特別感を出すために、少数組で開催した。体験した方にはこの特別感が伝わり非常に満足していただけただよう。

(委員)

- ・【取組み4-1】No.47について、今年度はカーフリーデーの実施をしないのか。

(事務局)

- ・今年度は9月23日に実施する予定である。

(委員)

- ・予定に入っているのか。

(事務局)

- ・こちらの記載漏れである。

(委員)

- ・輸送人員の推移について、公共交通全体の利用者数が年々増加しているが、唯一タクシーの利用者数が減っている。タクシーも重要な公共交通であり、タクシーがないと困る方もいるので、タクシーに対する利用促進も今後検討していただきたい。

(事務局)

- ・全国的にもタクシーが減少傾向にあり、難しいところもあるが、タクシー事業者の方も一生懸命に利用促進に取り組んでいただいているので、一緒に取り組んでいきたいと思う。

(委員)

- ・国の施策として、高齢者の足をどのように確保するかという観点から、個別輸送手段としてのタクシーの存在意義・価値・構想を、どのように公的に推していくか議論がなされている。巨視的な統計ではなく、市としても、このような情報を収受し、背中

を押す動機づけにしていきたいと思う。

○報告第2号 地域運営団体の取組の報告について

- ・オブザーバーより、これまでの東山バス運営協議会の取組について、報告第2号 地域運営団体の取組の報告について（その1）に基づき報告が行われた。
- ・オブザーバーより、これまでの石巻・下条地域交通推進委員会の取組について、報告第2号 地域運営団体の取組の報告について（その2）に基づき報告が行われた。
- ・オブザーバーより、これまでの表浜地域公共交通推進委員会の取組について、報告第2号 地域運営団体の取組の報告について（その3）に基づき報告が行われた。
- ・オブザーバーより、これまでのしおかぜバス運営協議会の取組について、報告第2号 地域運営団体の取組の報告について（その4）に基づき報告が行われた。
- ・オブザーバーより、これまでのかわきたバス運営委員会の取組について、報告第2号 地域運営団体の取組の報告について（その5）に基づき報告が行われた。

（質疑等）

（委員）

- ・地域のバスを地域の方が主体となって運営するというのは、割とあちこちにある事例であるが、支援会員制度というものはあまり見受けられない。支援会員とはどのような方がなり、会員から集めたお金をどのように利用されているのか、参考にお伺いしたい。
- ・先ほど、地域の利用者があまりいないとか、運転免許を返納された方があまり外出されなくなったという話があったが、意外に高齢者の方がバスの利用方法を知らないということが盲点となっている。昔から車で移動していたような高齢者は、今更バスの乗り方を聞けない、わからないから利用しない、だから、免許を手放せないという考え方が見受けられる。そこで、敬老会等で、高齢者を対象とした乗り方教室を実施してみてもどうか。バスが利用できることが分かれば、安心して免許を手放せるのでは。参考までに。

（オブザーバー）

- ・支援会員制度の内容だが、1口1,000円でお試し乗車券が2枚付いてくる。現在、車を利用しているが、5年、10年後には車を運転できるかどうか分からないので、地域のバスを残したいからと支援会員になる方が見受けられる。集めたお金の使用方法は、バス停周辺の美化や環境改善のために使用している。

（委員）

- ・支援会員になられる方は、バスの利用者や周辺にお住まいの方で、支援金という形で協力していただいているということによろしいか。

（オブザーバー）

・自治会に依頼し、全戸に支援いただけるかどうかのチラシを配布していただいている。JR二川駅から湖西市の方などもバスを利用しているが、あまり見受けられない。町内の方が9割である。

(委員)

・否定はしていないのか。

(オブザーバー)

・否定はしていない。どなたでもお待ちしております。

4. その他

○路線バスのICカードの導入の検討について

・委員より、路線バスのICカードの導入の検討について報告が行われた。

(質疑等)

(委員)

・今回の報告は、現況の報告ということによろしいか。スケジュール感などははっきりしていないのか。

(委員)

・そのとおりである。

(委員)

・実はタクシー業界も全く同じ状況である。交通事業者との共同購入とあり交通モードを限定することなくこのようなことを考えられているのは、地域の中での交通利便性を上げていく、非常に良い志であると思う。ぜひ、連携・協力等をお考えいただきたい。あわせて、市のみなさんにはタクシー業界も同じような状況にあることをご理解いただきたい。

(委員)

・豊橋鉄道の市電はこのシステムを使っているということによろしかったか。

(委員)

・そのとおり。

(委員)

・違う点は何か。

(委員)

- ・システム機器は変わってくるが、manaca というシステムには変わらない。

(委員)

- ・我々の年代はあまり使う人がいない。2 か月前にようやく使うようになった。大阪でも使えるということでもよしかったか？知っている人と知らない人が多くいる気がする。

(委員)

- ・関東だと suica をお持ちの方でもエリアに係らず使える。出張の方とか駅で見ている改札を通る際に利用されているのをよく見かける。

(委員)

- ・実際使ってみていかがだったか。

(委員)

- ・いちいち財布を出し、小銭を出すことが無くなる。交通の便が良い人や、鉄道をよく利用する人には良いと思う。

(委員)

- ・利用は増えてきていると思うが。

(委員)

- ・高齢者の方が、利用しているように見受けられる。若いの方が現金を使っているので、面白いなと思う。

(委員)

- ・煩わしさが無いから、慣れてしまうといいのかな。

○高齢者移動支援事業について

- ・関係者より、高齢者移動支援事業について報告が行われた。

(委員)

- ・コミュニティバス券は欲しい人に渡すのか。みなさんに配布か。

(関係者)

- ・対象となる方についてはこちらから通知を送らせていただいている。その通知に、どの券を選ぶか選択していただくようになっている。引き換えの際に選択している。元気

パスについては豊鉄バス（株）で引き換えていただくようになっている。

（委員）

- 電車券には市電も含まれるのか。

（関係者）

- 市電と渥美線が含まれる。

（委員）

- 選択というのは、全部くれるという意味ではないのだね。

（関係者）

- そのとおりである。

（委員）

• 説明いただいたこの書類だが、昨年まで受給対象であり、今年対象外となった方にも配布されているのか。

（関係者）

• 申し訳ないが、全ての方に配布されているわけではない。市内の公共施設や、同時期にシルバー優待制度の変更もあったので、その施設に合わせて置かせていただいている。また、地域の代表である自治会長や民生委員、老人クラブの会長につきましては配布させていただいており、近くの方からお問い合わせがあった際はお知らせいただくようお願いしている。

（委員）

• では、特段に広報で詳細をお知らせしたり、広報誌とともにお知らせを配布したりといったことは一切無しということだね。

（関係者）

• 広報では記事として掲載し、対象者がこのようになるということはお知らせしているが、詳細まではお知らせしていない。

（委員）

- 対象者は、人数的に何%減る見込みか。

（関係者）

• 対象となる方は、前回の制度の3割になるので、全体で7割が減ると見込んでいる。

7万人位の方が2万人位と。

(委員)

・そうしても、助成額が増えるので、その辺りはいかがか。前は2,000円だったのが、5,000円になっているかと思うが。

(関係者)

・前回は70歳以上の方全員ということで、70歳～79歳までを2,000円、80歳以上を4,000円という形で交付させていただいていたが、今回は低所得者限定という形で、5,000円を上限とし、今回から実績払いとなったので、年度内で5,000円までご利用いただけるようになった。

(委員)

・つまり手を挙げないといけないということだね。どのくらいの割合で手を挙げているのか。旧事業では何割、新事業ではどの程度見込んでいるのか。

(関係者)

・旧事業においては、引き換え率が8割程度。しかし、引き換えて実際にどれくらい利用いただけるか分からない。新事業においても同程度になると前提で事業設計している。

(委員)

・時期と関係事業者に知らせるタイミングが非常に遅かったのが難儀した。制度が変わる半年前には言っていたかないと。これは事業なのだから、市として志している仕事が、市だけでなく、事業者と一緒に取組まないと実施できないよね。こちらもいろいろな準備や理解に時間がかかるので、以後説明に際しては、時間を十分に取っていただきたい。知らされた時も、毎年と同じような事務連絡ベースで来たので、非常に驚いた。危うく手拍子で「はい」と言ってしまうところだった。方法を慎重かつきめ細かくやっていただきたいと思う。

・利用実績についてだが、こちらが掴んでいる感覚では、3割にも満たないという状況である。高齢者チケットを減らして、障害者関係のチケットを増やしたと聞いているが、対前年度でいくと、どのくらいのところで落ち着いていく見込みか。

(関係者)

・現状の利用実績についてだが、おそらく交付方法が変わった関係で、前年度より交付が進んでいない状況である。前年度までは郵便局で、4月20日過ぎ頃から交付していた。今年度は、まずは5月に市役所で交付し、6月から窓口センターでも交付を開始しているので、時間的に去年とは違う状況が発生しており、利用実績については、今す

ぐ去年と比較ということは難しいということをご理解いただきたいと思う。

・利用実績全体だが、事業費ベースでいうと全体での事業費的には3500万円程度。全ての券を合わせてだが、実際にどの交通機関がどの程度利用されているかは実績が見えないところである。全体的にはそれくらいの感覚で、事業を作っている。

(委員)

・高齢者だけか。

(関係者)

・高齢者と障害者、都市交通課の上乗せ分を合わせた全体である。

(委員)

・それは見込みか。

(関係者)

・予算ベースである。

(委員)

・都市交通課の上乗せ分を入れた理由は何か。

(事務局)

・元気パスの上乗せ分についてだが、高齢者移動支援事業ということで、電車やタクシー等の料金助成券については、交付金額通りで自己負担がないが、元気パスについては、1乗車する毎に100円の負担が生じること、利用期限内であれば、利用回数の制限が無く、利用すれば利用するほどお得感があることなどから、高齢者の路線バスの利用喚起が期待されることもある。そのような観点から、都市交通課として利用促進を含め、今回上乗せをさせていただいた。

(委員)

・こうして走り始めた施策なので、都市交通課を含め、これから運用を見ていかないといけないと思うので、今回の説明をもとに我々も一緒になって考えて、協力しながら、時には意見も言うかと思うのでよろしくお願いします。

・最後に、市民のみなさんへの周知についてだが、まだ来ないなと戸惑っている方もいるかと思うので、実際問題、交付対象外になってしまった方には不利益なことと言い辛いと思うが、何かしら言っていないと、今後、市の施策全体に妙な不信感を持たれてしまってもいけないと思うので、よく考えられた方がいいのではないかと。

(委員)

・恐らくまだ今年来ないことに気付いていない方もいて、これからそのような方からいろいろな問い合わせが来るかと思うので、周知についてはもう少し検討してもいいのではないか。

・この制度の変更の問題は、公共交通を考える上で、非常に重要な問題なので、ぜひ時期が来たら、どのような利用状況かを、この会において報告いただければと思うがいかがか。

(関係者)

・必要に応じて状況をまとめさせていただく。

5.意見交換

・なし

6.閉会

・事務局長の金子都市交通課長から閉会の挨拶があり、会議は終了した。

以上、議事の正確を証するため署名押印する。

豊橋市地域公共交通活性化推進協議会委員 ⑩

豊橋市地域公共交通活性化推進協議会委員 ⑩